

文芸部

現部長 安達 采美
前部長 大友 千聡
顧問 太田・芳野先生

文芸部って、何。よく聞かれます。文芸部とは、様々な文芸作品（小説、短歌等）を創作し、批評し合うことでの向上を目指す部活動です。主な活動としては夏・冬二回の部誌発行、俳句甲子園への出場、題に沿った創作品を批評し合う創作会や句会などがあります。特に顧問の太田先生のご指導の下、俳句に力を入れているのが特徴です。

さて、真面目すぎる紹介はここまでとして、我が部の実態を説明していこうと思う。

一。フランソワ。衝撃的なピンクの何かである。文芸部の守り神であり、部誌等の締切前には恐怖のシメキリさんとなって、部員たちを恐慌状態に追い込む。

二。すごく謎な部員たち。部長筆頭にちよつと変わった人がちらほら（いや全員か？）いるため、不思議な行動が常に目撃される。そんな部員たちもテスト前には自主的に部室で勉強会開きます、主に一年生。

三。漫研さんと部室が同空間にある。ので活発に交流がある。我々を隔てるものはホワイトボード×三しかない。

紹介はこれで終わる。この場をお借りしてお世話になった先輩方に感謝を。二年間、様々なことを学ばせていただき、そして『文芸部』と言う居心地の良い空間を作ってくれたこと、部員一同心から感謝しています。本当にありがとうございます。

